



五小だより



五小ブログ

五小ボランティア

5月号

令和7年4月30日(水)
国分寺市立第五小学校
042-322-0045
校長 齋藤 晃

学校教育目標 ○元気な子 ○やりとげる子 ◎考える子 ○思いやりのある子

はじめのい〜っぱ

副校長 小野 光典

令和7年度が始まり、一カ月が過ぎました。大きなランドセルを背負った1年生も、大きな環境の変化に負けまいと一生懸命登校してきています。涙を流してしぶる子の背中を押すこと、落ち込んでいる子を励ますこと、納得できるように諭すこと、頑張れたことを一緒に喜ぶこと、間違った行動を正すこと、どれも大人にとって、パワーが必要です。だからこそ、子育ては大事業です。しかし、親も教師も子育てによって成長します。この子たちによって、今でも私は成長させてもらっています！学校とご家庭とで、課題を共有し、共に歩みを進めていきましょう。

さて、4月の中旬、学校便りをお配りしている地域の方からこんな電話をいただきました。

「いつも、学校便りを送ってくださってありがとうございます。いつも楽しみに見えています。今年92歳になります。PTAの会長もしました。80歳頃まで、登校の見守りもしていました。運動会も毎回見に行かせてもらっています。これからも見守っています。」

何十年以上、五小とつながりをもち続けてくださっていること、本当にありがたいことだと感じます。

1年生のはじめの一步は、小さな小さな一步かもしれません。それでも、この先一步を重ねていくと、地域の方に何十年以上も見守っていただけているような大きな歩みとして、その子なりの成果を残していくのだと思います。1年生が刻む一步一步を教職員一同で後押ししていきます。

また、地域のその方は、「五小の子たちは、本当にいい子ですね。」と褒めてもくださいました。それを聞いて、素敵なお話がたくさんあって、確かにいい子たちだと頷く私だったのですが、ふと、ある会での教育長 古屋真宏先生の言葉を思い出しました。「学校便り等で、学校のよいところをもっと地域にアピールしてほしい。」地域の方からいただいたチャンスを生かし、五小の素敵なお話を紹介します。

○すすんであいさつ。1年生も自分からあいさつできる子が多くて驚きです。

○優しい高学年。高学年が下学年にとにかく優しいです。

○力のある教職員。個性豊かで、その力を指導に、業務に生かしています。そしてよく外で遊びます。

○見守りボランティア。子供たちの安全な登校を地域・保護者が毎朝見守ってくれています。

○わんわんパトロール。60名の飼い主さんと70匹のわんこが活動し、登下校を見守ってくれています。

「副校長、それだけですか！？」と突っ込みが入りそうですが、まだまだある五小の良さは、実際に学校に足をお運びいただき、感じていただけたらと思います。コミュニティ・スクールとして6年目を迎え、地域と共にさらに素敵なお五小を目指します。お力をお貸しください。

CS委員の紹介

本校は令和2年度よりコミュニティ・スクールとして指定を受け、今年で6年目を迎えました。学校と保護者、そして地域の皆様がともに知恵を出し合い、協働しながら、子供たちの豊かな成長を支えています。今年度のコミュニティ・スクール協議委員の皆様です。

龍神 瑞穂 (内藤・日吉地域連合防災会会長)	田和 洋太 (主任民生委員・児童委員)
鹿島 義之 (日吉町町内会会長)	森田 忠男 (北多摩東地区元保護司)
櫻井 奈穂子 (恋ヶ窪公民館長)	石川 真澄 (民生・児童委員)
岡田 光弘 (元PTA会長・元学校支援コーディネーター)	
横溝 大樹 (令和7年度本校PTA会長)	小野 光典 (副校長)

敬称略